

# 図書館のイチオシ



もーいーくっー  
ねーるーと〜♪



## ガーリーラッピングレッスン《アспект》

もうすぐクリスマス！クリスマスには友達同士でプレゼントを交換したり、クリスマス会でプレゼントを渡したりと何かとプレゼントを用意する機会が多いよね☆プレゼントを何にしようか決めるのは楽しいけど、ラッピングってどうしてる？お店でラッピングしてもらってもいいけれど、今年は自分でラッピングをしてみるっていうのはどう？？この本にはかわいいラッピングの仕方が満載！カンタンにできちゃうので不器用なキミでも大丈夫☆ステキにラッピングして楽しいクリスマスを過ごしてね♪♪ 【H385.9/カ】



## モナミは世界を終わらせる？《角川書店》はやみねかおる/著

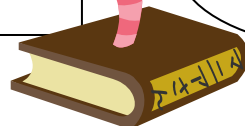


「おまえ、気づいてないだろうけど、命を狙われてるんだぜ」いきなりそんなことを言われたらどうする？？モナミはちょっぴりドジな普通の高校2年生の女の子。突然現れた男にこう言われ、平凡だったモナミの日常は急変する。なんとモナミの学校で起こることが世界の大事件とシンクロし、その中心にいるのがモナミだというのだ。走れば転び、ボールを蹴ればあさっての方向に飛んでいく、そんなモナミの数々のドジっぷりに、どうしてそんなことに…と思わずにはいられない。けど、悪いところはちゃんと反省したり、きちんと謝ったりするからなんか憎めないキャラなんだよねえ…。果たしてモナミは世界を守ることができるのか！？ 【F913.6/ハヤ】

ときどき本、  
ときどきDVD



# PAPAのイチオシ



お年玉もクリスマス  
プレゼントももらう  
のが専門だからね、  
オレ！

## メリーポピンズ【DVD】ロバート・ステイブソン監督

原作のイメージはとりあえず置いて、まあ、遊園地にでも行くつもりで、このジュリー・アンドリュースのメリーポピンズを楽しんでみよう！世界の「こっち側（リアル）」と「あっち側（おとぎ、その他諸々）」との境界の崩し方が、なんというか、ほんとうにいつか自分にも起こりそうで、ワクワクさせてくれます。

アニメと実写の合成も特殊撮影も、1964年制作というのが信じられないくらいナチュラルで、今のリアル過ぎるCGのほうがかえって不自然に感じてしまうほど。この映画を見ていると、観客を本当に映画にのめりこませるのは、ストーリーと演出なんだ、3DやCGはそのための一道具に過ぎないんだと、つくづく思います。特に前半のハイライト（バートとペンギンのダンス、メリーゴーランドに乗っての競馬、そして早口ことばの「スーパーカリフラジリスティックエクスぺアリドーシャス」※さあキミも言ってみよう！）は、映画史に残る最高の演出の一つだとパパは断言するぞ！！

【DVD 778.2×】

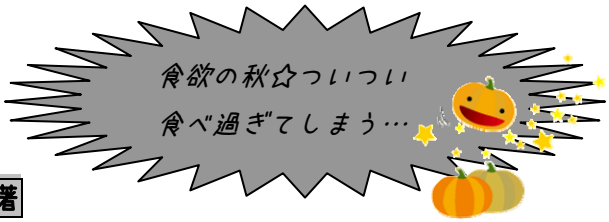


# プレゼント求む！！





## 図書館のイチオシ



くつしたがだるだるになっちゃうわけ《講談社》ゴトウマサフミ/著

シャンプーとリンスを間違えて使ってしまったたり、割りばしがうまく割れなかったり…そんな経験、みんなもない??実はこれ、全て妖怪の仕業☆シャンプーとリンスを間違えて使ってしまうのは“シャンプー少年”、割りばしがうまく割れないのは“ワリバシドリ”が近くにいるせい。他にもたくさんのイマドキ妖怪がいるので、ゼヒこの本でチェックしてみてもいい。思わず、「あるある!」と言ってしまふ妖怪の数々に笑ってしまうこと間違いなし!個人的には“コーンポター獣”のかわいさがツボだ! 【049/ク】



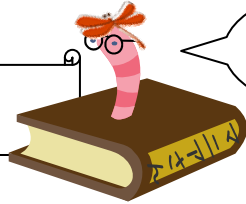
家元探偵マスノくん《ポプラ社》笹生陽子/著



高校1年生のチナツは入学後最初の課題である友達づくりにつまずき、“ぼっち”となってしまう。そんなときに出会ったのが、およそ高校生らしからぬ物腰でしゃべるマスノくんだった。マスノくんから怪しげな部活に勧誘され、恐る恐る部室に足を踏み入れてみると、そこにいたのは、自称女優や自称戦士、ネット越しの参加者スカイプさんといった超個性的なメンバーたちだった。マスノくんにしても、華道の次期家元にして探偵部の一人部長という、ちょっと変わった肩書きの持ち主。メンバーそれぞれが別の方を向き、全くまとまりのないTEAM☆BOUZZが日常に起こる謎に挑む。メンバーひとりひとりも面白いが、何よりチナツの冷静なツッコミが面白くてサクサク読めちゃうよ! 【913/サ】

ときどき本、  
ときどきDVD

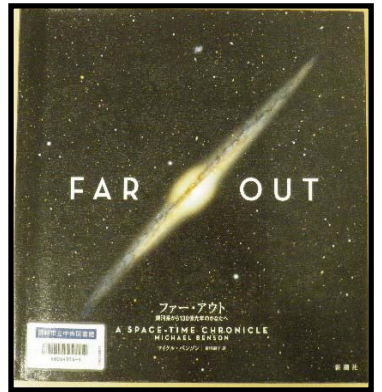
## PAPAのイチオシ



天高くPAPA  
肥ゆる秋!?

ファー・アウト 銀河系から130億光年のかなたへ《新潮社》マイケル・ベンソン/著

いわゆる天体写真集ですが、今まで見たこともないような美しい天体写真のオンパレードに、思わずため息が出ます。写真として切り取られた宇宙空間は、人間の想像をはるかに超える距離を捉えているはずですが、そこがまばゆいばかりの光にあふれていたり、至るところ真っ赤に染まっていたり…。でも、我々がとらえている(と思い込んでいる)宇宙とは、全体からすればごくわずか(約4%)で、それ以外の96%は、実は何でできているのかわかっていないんだって! タテ・ヨコ30センチ、328ページというかなり大型の本書には、千リヤハワイなど世界各地の有名な天文台・望遠鏡はもちろん、地球の周回軌道上に浮かぶハッブルやスピッツァーの両宇宙望遠鏡により撮影されたものもあれば、はたまたアマチュア天体写真家の作品もあり、随所に天文オタクと文学の混じったような解説とエッセーが挿入されています。正直パパの頭脳は、その学問的内容にはほとんどついていきませんでしたけど、この本を見ているだけでプラネタリウム以上にトリップできるから、大丈夫!?! \(\='▽'=)/



【本館レファレンス 443.6/7】



# 食べ過ぎ注意!!







## 図書館のイチオシ

一緒に宿題  
やらないっ!?



### けんちく体操《エクスマレッジ》米山勇ほか/体操と文

夏だ！海だ！けんちく体操だ！…というわけでけんちく体操とは、ありとあらゆる建築物を全身で表現しようというものだ☆国会議事堂やレインボーブリッジ、パルテノン神殿、今話題の東京スカイツリーまで、いろいろなけんちく体操を分かりやすく写真付きで解説している。実際にやってみるとこれが意外と楽しい（笑）本を見ながらやるもよし、お気に入りの建築物でやるもよし、一人でも二人でも、何人で挑戦してもOKだ☆長い長い夏休み、キミもけんちく体操の世界に触れてみてはいかがだろうか？レッツけんちく体操！！【520. 4/ケ】



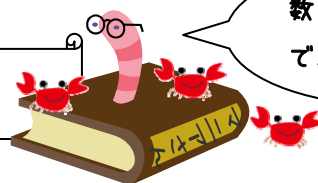
### 快晴フライング《ポプラ社》古内一絵/著



いろいろな部活があるけれど、夏にまさに本番を迎えるのは水泳部ではないだろうか？みんなの学校にもある？弓が丘第一中学校の水泳部はほんの2年前に同好会から部へ昇格したばかりの新参部だ。せっかく部に昇格したのだが、ある事件がきっかけで再び同好会に降格という危機に直面することに。部存続の条件は、弓が丘杯のリレー戦で優勝することというもののだが、残った部員は少々(?) 個性的なメンバーばかり☆泳げない水中歩行部員にアニメ・コスプレ大好きなオタク部員、芸人目指してなぜか関西弁を使うお調子者部員…そんな、どこかズレてて自由過ぎる彼らに何度も笑わせられマシタ。決して泳ぐのが速いとは言えないけれど、水泳が大好きという真っ直ぐな気持ちはビシビシ伝わってくる！思わずこちらもアツク引き込まれてしまうだろう。果たして弓が丘第一中学校水泳部の運命は！？【F913.6/フル】

ときどき本、  
ときどきDVD

## PAPAのイチオシ



数Iはよろしく。  
で、どこで？

### 豆腐小僧双六道中ふりだし 本朝妖怪盛衰録《講談社》京極夏彦/著

大きな頭に編み笠をかぶり、なぜか舌はピロリと出っぴなし。皿に載せたもみじ豆腐は落としたら死んでしまうと思いついでいるので、何事によらず大切に手に持ったまま。何がどうなっているのか、何をしたいのか、自分でもわけがわからず、その場限りの思いつきで江戸近辺の町やムラをうろちよろ動き回る、ご存知豆腐小僧でござ〜い！

映画では深キョンのアフレコで、すっかりキュートなキャラになっていたが、実態をこの本でよ〜く検証しておこう。しょせん、阿呆な小僧ではあるものの、これを読むことで、わが国が誇る(?) あらゆる妖怪・お化け・魑魅魍魎のいわれ・そもそもの意味合いが、ひとつおりのわかってしまうのだ！講師はかの滑稽達磨先生。態度は厳しく真剣なの

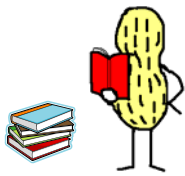
だけれど、容姿はちびっこいダルマ人形に手足が生えたという、「だるまちゃんとかみなりちゃん」のだるまちゃんレベルなので、その真面目さが全然伝わってきません（失礼!）。小僧が達磨先生に向かってときどき繰り出すくだらない合いの手も、先生の調子を微妙に狂わせてしまう。全編講談の調子で、読んで楽しく、ためになる（ならないか？）妖怪百科事典、夏の暑い夜に笑って読もう！

【F913.6/キヨ】



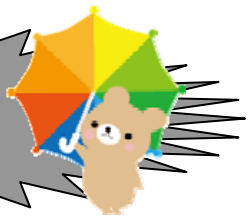
図書館でさっ！





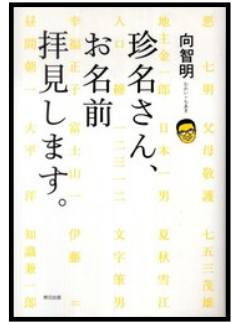
# 図書館のイチオシ

わざと傘を忘れた  
・・・フリ。作戦!



珍名さん、お名前拝見します。《熊日出版》向智明/著

そろそろ、新しい学校やクラスに慣れたころ? 友だちもけっこうできたころかな? その友だちの中に変わった名前の子、いたりする? この『珍名さん、お名前拝見します。』では、変わった名前(実在)を次々と紹介した本だ! もうしょっぱなから「入口 締」(いりぐちしまる)さんと、飛ばしまくりだ。中でも読める人は皆無だ、という「伊藤 =」さんはスゴイ。読み方は「イコール」さんである。それ、名前に使っているのだろうか…。他にもたくさん変わった名前が紹介されている。友だちと、こんな名前はアリか?! と盛り上がってくれ☆。 【288. 1/千】



双月高校、クイズ日和《講談社》青柳碧人/著



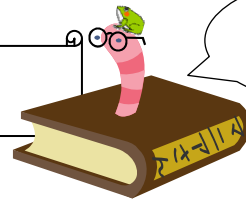
高校に入学後、同学年女子の多いテニス部に入部した主人公の土方亜輪紗(アリサ)。適当に周りと調子を合わせてさえいれば、いつでも遊びに誘ってもらえる。友人の奈美江に押し切られるようにして、テニス部に入部するものの努力すればレギュラーになれた中学時代とは違い、高校のテニス部はレベルが高くとてもレギュラーにはなれそうもない。

「彼氏でもつくっちゃいなよ。」という奈美江に、あいまいな返事をしていたアリサだったが、「ねえ、キミ! クイズやらない?」と突然見ず知らずの先輩、鹿川に声をかけられる。はじめは思いっきり拒否するがしかし、数週間後には見ず知らずの先輩だった鹿川たちと一緒にクイズ同好会に所属することになる。なぜ、アリサはぬくぬくした高校生活

のポジションを捨ててまでクイズ同好会に入ったのか? そのクイズ同好会のメンバーとは? それは読んでのお楽しみ☆。しかし、クイズってホントは、スポーツだったのね…。 【F913.6/アオ】

ときどき本、  
ときどきDVD

# PAPAのイチオシ



入れてやるから  
アイスおごりなっ!

ラサリーリョ・デ・トルメスの生涯【岩波文庫】会田由/訳

ピカレスク小説(または悪者小説)というジャンルがあるけれど、これはそのほぼ原初のものといっていいいでしょう。要するに、名もない貧乏な主人公があっちこちで苦勞しながら、何とか衣食住を満たして、どうにかこうにか最後はハッピーエンド、という展開。散文による近代小説の原型、といえなくもありません。

物語を本で読む、ということが当たり前でなかった時代。物語とは、王子様・お姫様、騎士あるいは怪物や悪魔などが登場する冒険・恋愛譚を、詩人(またはドサまわりの芸人)が、人々に語って聞かせるものでした。小説が文学の主流になるのは、割と近代になってからなんだよね…。さて16世紀のスペインに突如現れたこのお話。「世の中、やっぱりお金がないとダメね!」「食べ物にありつけば何とかなるって!」「悪智恵も、生きるためならとりあえずOKにしとこう!」といった、当時も今も変わらないフツウの人々の現実を、写実的というか身もフタもなく描いたこの作品は、作者不詳で、文体も章ごとのバランスもかな〜りテキトーにもかかわらず、ベストセラーになったようです。間抜けだけどあっけらかんとして、なかなかの皮肉屋でもある少年ラーサロの活躍(?)に乞うご期待!

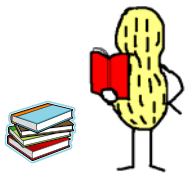


【自動書庫 BIR】

いっしょに帰ろっ!







# 図書館のイチオシ



頭に花咲く(?)  
新学期だ〜♪

## UFOはまだこない《講談社》石川宏千花/著

SF?読み始めはそう思うかもしれない。でも、ちがう。小学校からずっと仲良しの中学生の男の子たちの物語。公平と亮太は、肝も座っていて、足も速く、テストで80点以下をとったことがない。おまけに某アイドルタレント事務所から菓子折り持参でスカウトに来たという噂も立つほどの見目麗しさ!そんな無敵な二人だったのに、ある日突然公平が宇宙人と交信し始めた。亮太ともまともに口をきいてくれない。苛立つ亮太だったが、ある事件をきっかけに、公平が変になった理由もわかる。二人と同じU団地に住む先輩スバルくんや恭介くん(二人ともイケメン。ムフっ☆)も加わり、色々なトラブルを乗り越えていく。う〜ん、それはまるで現代の水戸黄門!…。なんて言ったら引くw?いや〜、クラス替えしたら公平・亮太コンビみたいなクラスメイトがいたらな〜! 【913/イ】



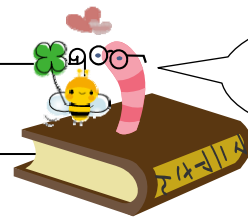
## タコさんウイナーと仲間たち《永岡書店》宮澤真理/著

新学期、新しい教室で新しい友だち…。何を話したらいいのかなア〜、なんて悩んでいませんか?そんな時こそコレだ!タコさんウイナーは、お弁当のおかずとしては定番中の定番かもしれない。でも。ただのタコさんウイナーじゃないとしたら…?黒豆のリーゼントを乗せたタコさんウイナーは「タケシ」28歳、解体業だ。ひと昔前のサングラスをかけて、パスタのたばこをくわえた、とてもタコさんウイナーの可愛らしさなどはどこにもない一品。「アケミ」24歳、家事手伝いは薄焼き卵のパツキンで、つけまつげをつけ、プリッツの竹刀を片手に自分の美学を貫き通す。弁当に入れて持っていけば、たちまちクラスの人気者☆。本を見るだけでも友だちと会話がはずみそう♪ 【H596.33/タ】



ときどき本、  
ときどきDVD

# PAPAのイチオシ



春。シブい本と映画  
で、目指せモテ男!

## 許されざる者【DVD】クリント・イーストウッド/主演・監督

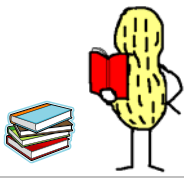
「硫黄島からの手紙」で日本でもすっかりおなじみの映画監督クリント・イーストウッド。彼はその昔「荒野の用心棒」などのイタリア製西部劇(いわゆるマカロニ・ウェスタン)で注目された俳優で、その後、刑事「ダーティー・ハリー」シリーズでスターダムに駆け上がっていきました。この作品には、そうした映画の要素が数多く積み込まれています。一見平和な街。陰で街を無慈悲に牛耳る男たち。その下で苦しむ女性・老人・子ども。そこへ不意に現れるよそ者。名前はあるのかないのか?いいヤツなのか悪いヤツなのか…?やがて訪れる、激しくも寡黙なクライマックス…!映画では、悪徳警官に支配され重苦しい雰囲気漂う街と、老齡ガンマンのウィリアムが暮らすのどかな草原地帯が対照的に描かれます。しかし、ウィリアムの相棒ネッドが悲惨な最期を迎えたのを境に、それまでほとんど老いぼれ状態だった彼はごく静かに豹変(この場面には鳥肌が立ちます)し、物語は一気に重苦しくも怒涛のクライマックスへ!画面から伝わる緊張感はずさまじく、逃げ場のない酒場での1人対5人の対決シーンにはマジで息止まりそ〜!なお、エンドクレジットは、イーストウッドがスターになるきっかけを作ってくれた亡き二人の映画監督(セルジオ・レオーネ、ドン・シーゲル)に捧げられていて、映画人としての彼の心意気が伝わってきます(泣けるぜ)。

【DVD 778.2ユ】



# 脳天気ちゃうで!





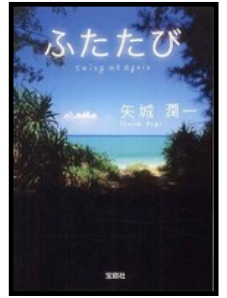
## 図書館のイチオシ

チョコレート、  
私にもおくれ。



ふたたび《宝島社》矢城潤一/著

俳優財津一郎さんや、陣内孝則さんなど渋いおじさま方に加え、我々がLibra ホールでライブを行ったこともある Jazz 界の巨匠、Sax. 奏者のナベサダさんも友情出演された映画「ふたたび」の原作小説。財津さん演じる、元ハンセン病患者のおじいちゃんが主人公の映画とは異なり、原作はこのおじいちゃんと高校3年生の半ひきもり状態の男の子がW主人公である印象だ。ハンセン病の療養施設から急に家へ越してくるようになったおじいちゃんと孫との突然の出会いから、徐々に引きこもりの孫が大人になってゆき、祖父と孫の恋の行方も気になるストーリーだ。個人的には、この孫の片想いの年上女性が図書館職員であるところが気に入っていたりする（ははは…）。第5回日本ラブストーリー大賞エンタテインメント特別賞受賞作であり、バレンタインデーの時期にはぴったりかも！ 【B913.6/ヤキ】



かわいいチョコレートのお菓子《日東書院》寺西恵理子/著

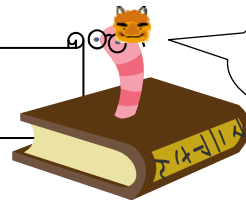


2月といえば、バレンタインデー！ティーンズにとっては一大イベントだよね。本命も友チョコも、手作りできたらいいなあ…って思いませんか？でも、難しいのはやっぱりムリ(>\_<)！そこで、図書館にある手作りチョコレートの本を借りるという提案なのだー！この『かわいいチョコレートのお菓子』は、初心者向けのお菓子作りの本なので、安心して試してみてください。写真付きの詳しいプロセスで、わかりやすいヨ。でも、仕上がりの写真を見ると、なかなかどうして！プロ顔負けのかわいいお菓子ができてしまうらしい。こんなチョコレートもらったら、誰でも感激間違いなし☆。

【H596.6/カ】

チョコは固いから、  
硬派で書くぞ(?)

## PAPAのイチオシ



鬼です。まくのは豆  
じゃなくてチョコね。

アメリカン・デモクラシーの逆説【岩波新書】渡辺靖/著

オバマ大統領就任後のアメリカ。就任直後の熱狂はすっかり醒め、自由、公正、多様性など建国の理念を常に求めてきたがゆえに、さまざまな逆転現象が生じているアメリカ社会を、作者はフィールドワークの手法で活写していきます。個人主義の行き過ぎを抑え、政府の暴走を食い止める役割を担っていたはずのロビー活動団体の、私利私欲に駆られた暴走。安心安全な生活環境を求めるがために、ライフルで武装したガードマンに守られたゲットーのような住宅地の増殖。自立自助のためにはスクールバスへの企業広告も許される学校経営。個人がキリストへの純粋な帰依に立ち返れるようにと活動してきたものの、その個人の要求にこたえるため、今やショッピングモールのような様相を呈しているメガチャーチ、などなど。



ヨーロッパや日本と違って神話的な過去（歴史）がなく、いわば「人工的に」民主主義国家として誕生したアメリカ社会を覆う影と、それでもどこかで確かに見える光が、親米でも反米でもない立場から描かれています。さまざまな問題はあるにせよ、楽天的な自己再生能力を持つアメリカの姿は、我々にもいろいろなヒントを与えてくれるんじゃないかな。

【ポピュラー 1302.5ア】



# 本命がほしい～！

